

対象菌洗い出し（発生に係る配慮）：評価指針別紙 1、1（1）

アミノグリコシドの適応症及び有効菌種（簡易版）

1. 対象となる菌のリスト

アクチノマイセス

アビバクテリウム・パラガリナラム

エリジペロスリックス・ルジオパシエ

クラブシエラ

サルモネラ

パスツレラ

ブドウ球菌

プロテウス

ボルデテラ

レプトスピラ

大腸菌

ツルエペレラ・ピオゲネス

2. 畜種別有効菌種

牛	肺炎	パスツレラ
	気管支炎	ブドウ球菌
	細菌性下痢症	コリネバクテリウム※
	細菌性関節炎	大腸菌
	乳房炎	サルモネラ
	レプトスピラ症	プロテウス
	術後感染症の予防	クラブシエラ
	子宮内膜炎	レプトスピラ
	放線菌症	アクチノマイセス
豚	細菌性下痢	大腸菌
		サルモネラ
		ブドウ球菌
		クラブシエラ
	肺炎	パスツレラ
		ブドウ球菌
		コリネバクテリウム
		大腸菌
		サルモネラ
		クラブシエラ
		プロテウス
	萎縮性鼻炎	ボルデテラ
	レプトスピラ症	レプトスピラ
	豚丹毒	エリジペロスリックス・ルジオパシエ
鶏	大腸菌症	大腸菌
	ブドウ球菌症	ブドウ球菌
	伝染性コリーザ	アビバクテリウム・パラガリナラム
馬	細菌性関節炎	パスツレラ
		ブドウ球菌
		大腸菌
		サルモネラ
		クレブシエラ
		プロテウス

※ 近年コリネバクテリウムの分類が変更になり、牛の細菌性関節炎の原因菌となるものは *Trueperella. Pyogenes* になったと承知している。

対象菌洗い出し（発生に係る配慮）：評価指針別紙1、1（1）
 アミノグリコシドの適応症及び有効菌種（詳細）

	投与経路	畜種	適応症	有効菌種
アプ ラマイシン	経口	豚	細菌性下痢	大腸菌
カナマイシン	注射	牛	肺炎	パスツレラ。 カナマイシン感受性の次の菌種；ブドウ球菌、コ リネバクテリウム、大腸菌、サルモネラ、プロテ ウス。
			気管支炎	
			細菌性下痢症	
			細菌性関節炎	
			乳房炎	
		豚	肺炎	
			細菌性下痢症	
		鶏	大腸菌症	
	噴霧	豚	萎縮性鼻炎	ボルデテラ
PCG配合剤	経口	豚	細菌性下痢症	記載なし
		鶏	ブドウ球菌症	
	注入	牛	泌乳期の乳房炎	記載なし
ゲンタマイシン	経口	牛	子牛の細菌性下痢症	大腸菌、サルモネラ
		豚	子豚の細菌性下痢症	
ストレプトマイシン	経口	牛	細菌性下痢症	ストレプトマイシン感受性の次の菌種
		豚	細菌性下痢症	ブドウ球菌、大腸菌、サルモネラ、クレブシェラ
PCG配合剤	経口	豚	細菌性下痢症	記載なし
		鶏	ブドウ球菌症	
ジヒドロストレプトマイシン	注射	牛	レプトスピラ症	パスツレラ、ヘモフィルス・パラガリナルム、レ プトスピラ
			乳房炎	
			術後感染症の予防	
		馬	細菌性関節炎	ジヒドロストレプトマイシン感受性の次の菌種： ブドウ球菌、コリネバクテリウム、大腸菌、サル モネラ、クレブシェラ、プロテウス
		豚	レプトスピラ症	
			肺炎	
		鶏	伝染性コリーザ	
PCG配合剤	注射	牛	乳房炎	記載なし
			術後感染症の予防	
			肺炎	
			気管支炎	
			放線菌症	
			細菌性関節炎	
		馬	細菌性関節炎	
	注入	牛	肺炎	記載なし
			豚丹毒	
			乾乳期の乳房炎	
			泌乳期の乳房炎	
			子宮内膜炎	記載なし
フラジマイシンOTC配合剤	経口	豚	肺炎	記載なし
			細菌性下痢症	
		鶏	細菌性下痢症	
	経口	牛	細菌性下痢症	記載なし
		豚	細菌性下痢症	
PCG配合剤	注入	牛	泌乳期の乳房炎	記載なし